

航空機の都心低空飛行反対 江戸川ニュース

No.1 2016.6.12

航空機の都心低空飛行に反対する
江戸川区民の会

代表 肥後 義弘 (03- -)

事務局 太田 美音 (03-5605-0586)

E-mail ; mine-ota1004@mbr.nifty.com

区議会への陳情署名 3400筆を超える

区議会議長あて“羽田空港の増便計画による「航空機の都心低空飛行ルート案」撤回を国、都へ働きかけるよう求める陳情”署名にご協力、ありがとうございます。

6月3日に第3回目の追加提出を行いました。



署名は累計で**3401**筆、引き続き、ご協力をお願いします。

区長へ要請書提出

6月7日、下記の内容で区長あてに要望書を提出しました。

1. 羽田増便計画による新ルート案撤回を国や東京都に働きかけてください。
2. これまでの「関係機関への働きかけ」の内容について、説明の場を設けてください。
3. 上記について、6月末日までにご回答願います。

江戸川生活者ネットワーク主催 秀島一生さんを講師に 羽田増便による「首都圏低空飛行」について学習会

1971年上空を飛行機が通過するようになって以来、江戸川区は、飛行機の騒音について対策と改善を申し入れてきました。しかし、国は「都心から近い」「24時間オープンしている」という強みを生かしたいとビジネスや観光をしやすい環境にするために、1時間当たりの発着便を10便増やすための航路の見直しが進められています。

騒音だけでなく、都心の上空を飛行することの危険性など、日本航空国際線チャーターパーサーとして30年務められた経験をもとにお話しいただきます。

日時：6月20日(月) 19:00 ~ 20:45

場所：タワーホール船堀 研修室(4F)

講師：航空評論家 秀島一生さん

資料代：300円

お問合せは江戸川・生活者ネットワークまで 03-5607-5975

江戸川区議会

本会議、委員会傍聴を

6月9日より、今年度第2回定例区議会が始まりました。

私たちの陳情が付託された生活振興環境委員会の委員が入れ替わり、世話人を中心に新委員への要請行動を行っています。

委員会、本会議での質疑を傍聴しましょう。

- ・ 6/14 (火) 午後
本会議一般質問で大橋区議が航空機騒音問題を質問する予定
- ・ 6/16 (木)、7/5 (火) 10時～
生活振興環境委員会

羽田増便による都心低空飛行計画に反対する

他区・東京連絡会等の動き

- ・ 5/16 東京連絡会打ち合わせ
- ・ 5/16 品川区有志区議主催
秀島一生氏講演会
- ・ 5/24 都庁記者クラブで記者会見
(東京連絡会呼びかけ、8区の団体が参加)
- ・ 5/30 参議院議員会館にて、国交省ヒアリング(4/19国交省発表の修正案を中心に説明を受け、各区の参加者から質疑)

アピールパレード

- ・ 日時：6/19 (日) 13:00～
- ・ 集合場所：品川区浅間台公園
(大井町駅より徒歩5分)
- ・ 主催：品川区民の会

羽田飛行ルート変更で『東京は標的の村になる』

そう言ったのは米国出身の詩人アーサー・ビナード。彼と大田区議会議員那須りえ氏の対談イベントに6月5日参加して来ました。

「標的の村」は、米軍のヘリパット建設阻止のために抵抗し続ける沖縄県東村高江の住民たちを追ったドキュメンタリー映画です。1960年代、住民はベトナム人役をさせられ、米軍の訓練の標的にされたのだそうです。翻って、羽田の新ルート問題について「高江も東京も同じだ」と彼は力説しました。

- ・ テロを防ぐと言いつつ、新ルートはテロに協力するようなもの。都心を飛ばして万一の被害を大きくする計画を政府自身がやっている。ニューヨークではこんなこと(新ルート案)は考えられない。
- ・ 普天間基地周辺では、米軍人住宅の上は飛行しない。それは米国にそういう法律があるから。しかし沖縄県民の上は飛んでいる。岩国周辺でもオスプレイが飛び回っている。日本の空は誰のための空か？

彼の話聞いて、新ルート問題は単に羽田増便絡みの問題ではなく、決して大袈裟ではなく日本をどうするのかという問題だと気付かされました。

そして彼はこんなことも言っていました。

- ・ 「高江も東京も同じ」だが、違うのは「高江は闘っている」こと。都民は闘えるか。

残念ながら、まだ新ルート問題を知らない人が多いですが、知れば反対の人がほとんどなはず...と思います。

(藤田直子)